



不二硝子株式会社

平成28年3月期 決算説明資料

不二硝子株式会社



株式コード:5212



平成28年3月期 決算概要

平成28年3月期 決算の総括

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済成長政策や日本銀行の金融政策を背景に、大手企業を中心に雇用や所得環境が改善傾向にあるなど緩やかな回復基調がつづいているものの個人消費はなお低迷し、新興国の経済成長の鈍化による為替の変動や中東地区等の地政学的なリスクによる原油価格の急落など依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において政府による薬剤費抑制策が更に推し進められ、さらに本年4月に薬価改定が実施される事に伴い当業界の主力製品である「アンプル・管瓶」の需要が低調に推移した厳しい経営環境にありました。

このような環境下、当社グループといたしましては、主要製品はじめ関連商品の拡販と、さらなる諸経費の削減や品質水準向上に全力を注ぎ、業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高につきましては、積極的な販売活動を行いました前年を下回り、売上高26億8千万円(前期比2.6%減)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少や製造経費の主要費目である材料費の値上げがありましたが、前期から取り組んだ稼働体制の見直しによる稼働率や製造歩留りの向上、原油価格の下落で都市ガスや電気の料金引き下げに伴う加工用燃料費や電力費の減少及び更なる経費削減に取り組んだ結果、営業利益1億5千3百万円(前期比3.7%増)、経常利益1億7千4百万円(前期比4.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億1百万円(前期比7.4%増)となりました。

損益計算書 【連結】

単位:百万円

科目	当期	前期	前期比(%)	備考
売上高	2,680	2,752	2.6	積極的な販売活動を行ないましたが前年を下回りました。
売上原価	2,096	2,178	3.8	製造経費の材料費の値上がりましたが、稼働率・歩留の向上や原油価格の下落に伴う加工用燃料費や電気料金等の減少や、消耗品等の更なる経費節減に努めた結果減少しました。
売上総利益	584	574	1.7	売上原価の減少により売上総利益率が上昇しました。
販売費及び一般管理費	431	426	1.0	
営業損益	153	147	3.7	
経常損益	174	167	4.5	売上原価の減少により増加しました。
親会社株主に帰属する 当期純損益	101	94	7.4	

損益計算書 【単体】

単位:百万円

科目	当期	前期	前期比(%)	備考
売上高	2,680	2,752	2.6	積極的な販売活動を行ないました が前年を下回りました。
売上原価	2,225	2,284	2.6	製造経費の材料費の値上がありました が、稼働率・歩留の向上や原油 価格の下落に伴う加工用燃料費や 電気料金等の減少や、消耗品等の 更なる経費節減に努めた結果減少 しました。
売上総利益	455	468	2.8	売上の減少により売上総利益率が 減少しました。
販売費及び一般管理費	372	371	0.3	
営業損益	82	97	14.8	経費の増加により減少しました。
経常損益	109	122	10.6	
当期純損益	69	68	1.6	

貸借対照表 【連結】

単位:百万円

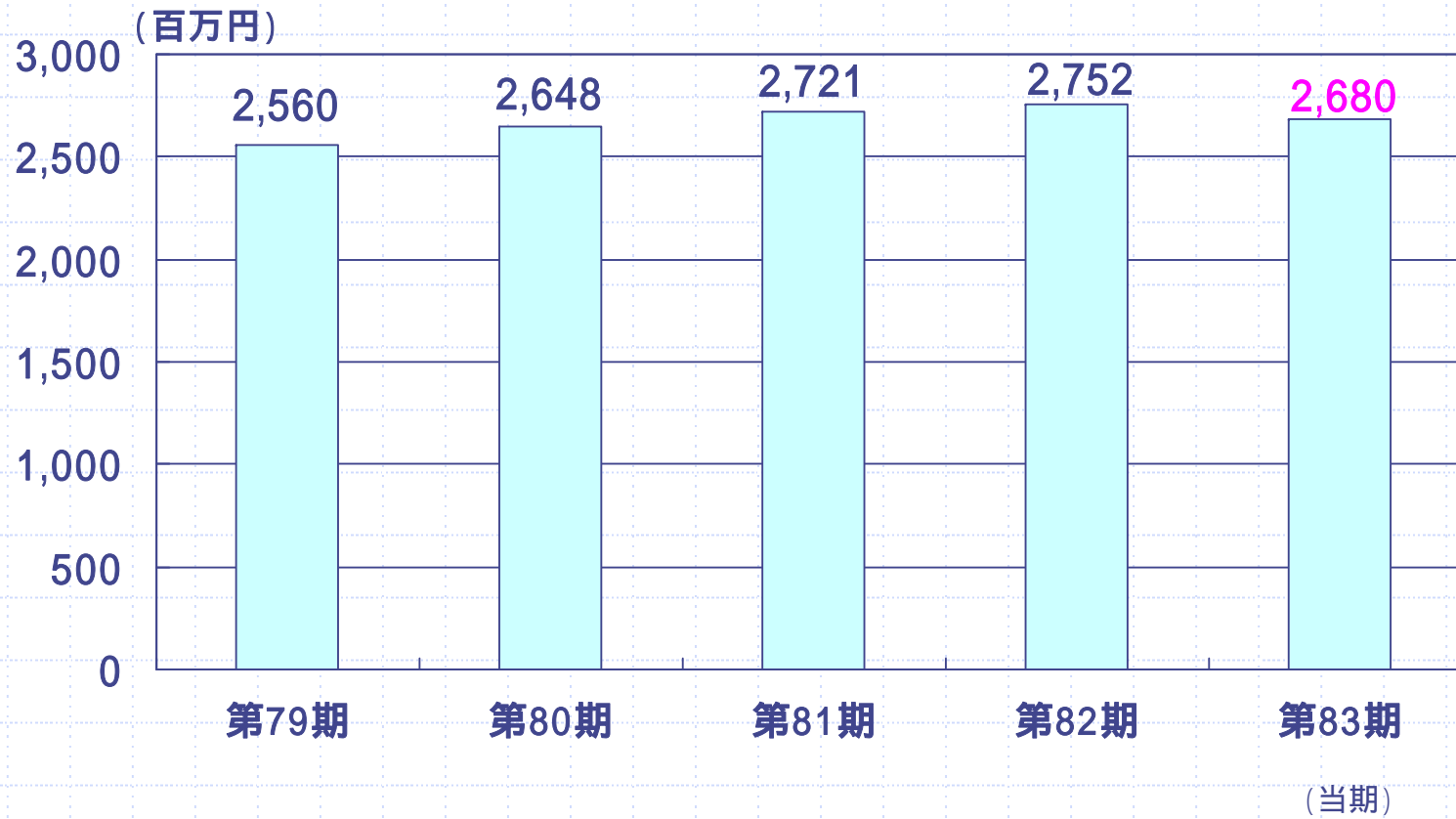
部	科目	当期	前期	増減	備考
資産	流動資産	1,714	1,667	47	現金及び預金や未収入金が減少しましたが、商品及び製品が増加しました。
	固定資産	1,782	1,754	27	建物改修や機械装置の取得で有形固定資産が増加したことや、投資有価証券の時価評価が上昇した事に伴い増加しました
資産合計		3,497	3,422	75	
負債	流動負債	539	588	48	長期借入金や未払法人税が増加しましたが、買掛金や繰延税金負債が減少しました。
	固定負債	612	593	19	
負債合計		1,152	1,181	29	
純資産	株主資本	1,840	1,760	79	利益剰余金が増加しました。
	その他の包括利益累計額	432	417	15	その他有価証券評価差額金が増加しました。
	非支配株主持分	71	62	9	
純資産合計		2,344	2,240	104	
負債純資産合計		3,497	3,422	75	

貸借対照表 【単体】

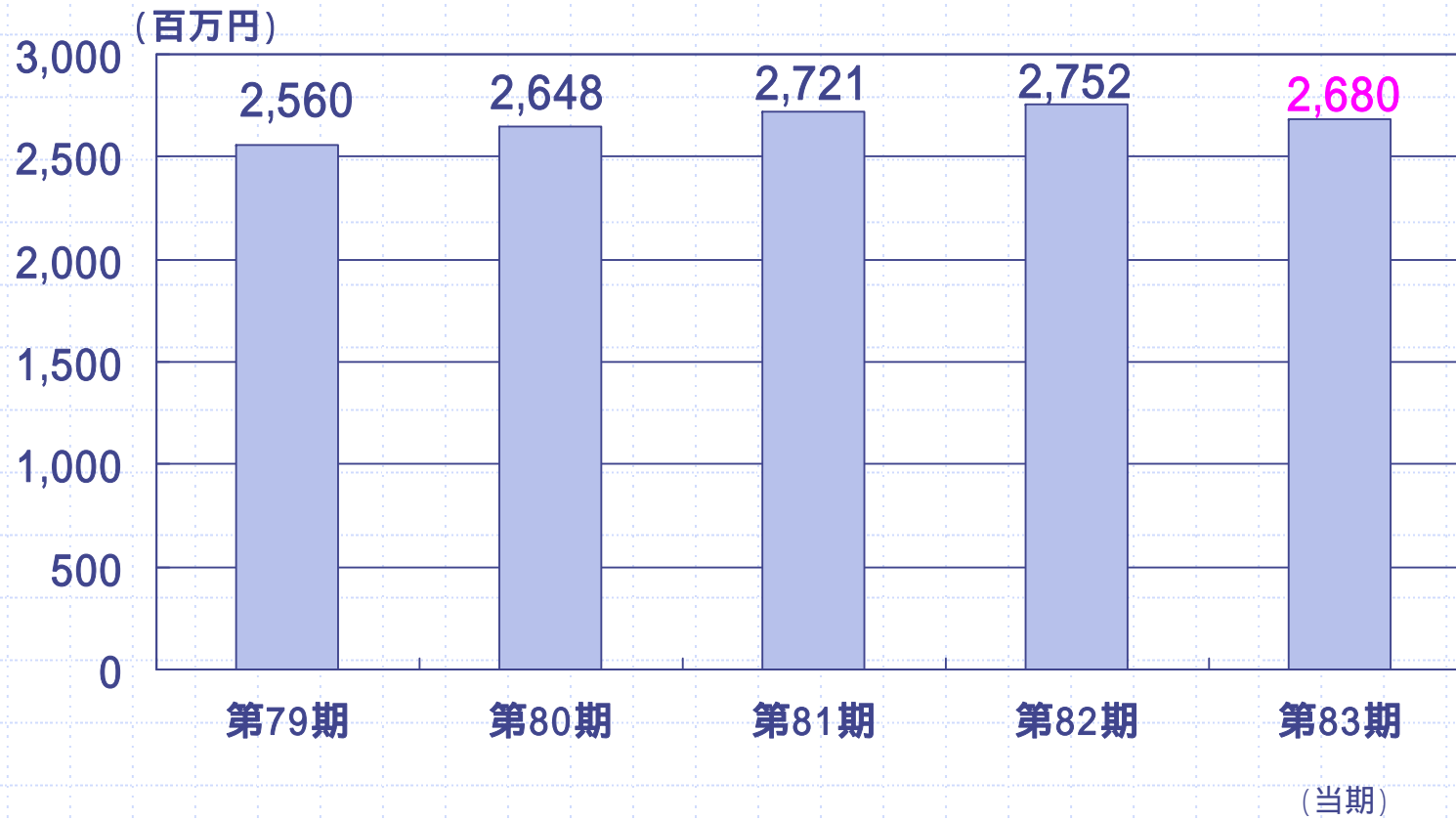
単位:百万円

部	科目	当期	前期	増減	備考
資産	流動資産	1,497	1,487	9	現金及び預金が減少しましたが、商品及び製品が増加しました。
	固定資産	1,701	1,677	24	建物改修や機械装置の取得で有形固定資産が増加したことや、投資有価証券の時価評価が上昇した事に伴い増加しました
資産合計		3,199	3,165	33	
負債	流動負債	540	586	46	長期借入金や未払法人税が増加しましたが、買掛金や繰延税金負債が減少しました。
	固定負債	574	558	16	
負債合計		1,114	1,144	29	
純資産	株主資本	1,651	1,603	48	利益剰余金が増加しました。
	評価・換算差額等	432	417	15	その他有価証券評価差額金が増加しました。
純資産合計		2,084	2,020	63	
負債純資産合計		3,199	3,165	33	

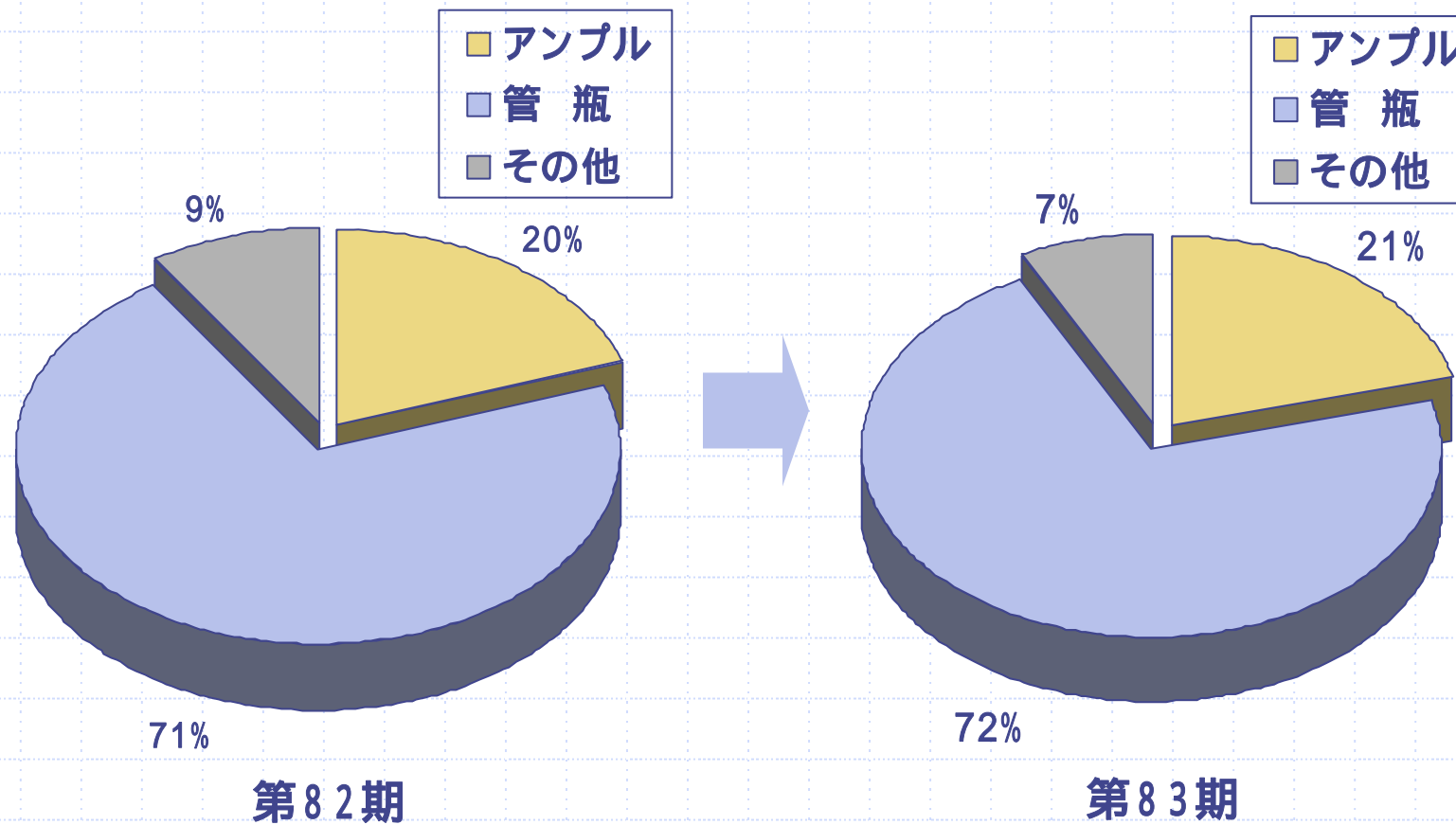
売上推移 【連結】



売上推移 【单体】



売上構成比の比較 【連結】



平成29年3月期 業績予想

平成29年3月期業績予想

		売上高	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり年間配当金		
					中間	期末	合計
		百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
連結	中間期	1,300	40	25			
	通 期	2,600	50	30			
単体	中間期	1,300	35	20			
	通 期	2,600	45	25		7.50	7.50

今後の見通しにつきましては、当医薬容器業界におきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬剤費の抑制傾向がますます強まって、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高2.6億円、営業利益7千万円、経常利益5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益3千万円を見込んでおります。

〈ご参考〉 1株当たり予想当期純利益(通期) 14円17銭(連結)

1株当たり予想当期純利益(通期) 11円80銭(単体)

参 考

当社の経営方針・中期経営計画

◆ 今後の経営方針

当社グループは、製薬業界における薬剤の包装容器メーカーとして、永年培った技術を駆使して、常に製品の高度な品質と安定した供給を旨とし、社会に貢献することを基本方針としております

◆ 中期経営計画

成熟化した国内市場での一層のシェア確保、高度な生産技術・工場内の整備を進め効率のよい生産管理を行い、収益性の高い強固な事業体質の構築を目指します。さらに、迅速かつ効果的な経営効率の向上のために認証取得した、国際的な管理基準であるISO9001:2008 年度版の管理体制にあわせた「情報の効率化・迅速化」を目的とした基幹系統合システムの構築と品質管理に積極的に取り組んでまいります。

◆ 会社が対処すべき課題

今後につきましては、当期同様厳しい経営環境が続くものと予想されますが、企業体質の強化を図るために、引き続き「品質の強化」「売上の拡大」「コストの低減」「管理体制の強化」を重要テーマとして、当社グループを挙げて徹底した経費の節減を行い原価の低減に傾注するとともに、製造設備の整備を進め相互補完による最適生産などによる連結経営のより一層の強化を図り、積極的な販売活動と営業拡大を行い業績向上に努力を重ねてまいります。

本資料に関するお問い合わせ

不二硝子株式会社

総務部

TEL : 03 - 3617 - 5111

E-mail : soumubu@silicox.co.jp